



〔管理者・保全団体〕滝ノ浦地区

ポイント

JR羽越本線女鹿駅の南200mほどのところの遊佐町滝ノ浦地区の中にある大鳥神社境内で滝のように流れ落ちる湧水である。鳥海山の伏流水で、この地区には他にも湧水があるが、中でも最大の湧水がこの滝の水で、集落の名前「滝ノ浦」の由来となったと言われている。

この地区では、古くから飲用や洗濯等の生活用水として使われてきた湧水である。

アクセス (北緯39.097035°、東経139.880509°)

国道7号線沿いの道の駅「鳥海ふらっと」から北に100mほど進み、国道345号線に左折し分岐点から5kmほど進むと、道路右側（東側）に滝ノ浦集落がある。駐車場はなく、国道345号線からの通路も狭いので、集落付近の国道沿いの駐車帯に車を止め、徒歩で100mほどのところに大鳥神社がある。

